

【第1号議案】

【2024年度事業報告】

当期損益前年並み

2020年春から約3年の「新型コロナ禍」から曲がりなりにも脱し、社会活動、日常生活が元に戻りつつあります。

当会の活動も、とりまく環境、条件が2023年度からは「新型コロナ禍」以前にほぼ戻り、2023年度は運行収入前期比116%に伸ばすことができました。しかし、2024年は財政に大きく影響する「運行事業」の収入は前年実績5,906,890円から10%ダウンの5,300,672円になりました。一方、補助金は2023年度のトリップ数の伸びによる補助金増額（前年比115%）になったことにより、運行収入のダウンをカバーし、最終の当期損益を1,792,331円とすることができました。（前年1,600,414円）

トリップ数も前年並み維持

実績交付金（区）に関わるトリップ数は運行件数により前年度（5,190トリップ）から5,080トリップと若干ダウンしましたが、2025年度は2024年度と同額の実績交付金を見込めることになりました。利用者の新規加入は7人ありました。

しかし、運行件数の約70%を占める「重症心身障害児」の通所施設の運行依頼件数が減り、伴ってトリップ数も減れば運行収入および補助金への影響は避けられません。今後に向けしっかり押さえておかねばならないことであります。

継続は力なり、安定した状態

拠点のリビングでの＜八幡山地域支え合い・介護予防事業＞の活動は「新型コロナ禍」前まではいかないうちでも、例え人数や、活動回数が少なくなっても、前向きに活動している団体の姿があります。しかし、約3年「新型コロナ禍」のために、利用中止、3密対策（密閉・密集・密接）による活動制限、これによる活動の停滞は、現在つも影響を及ぼしています。高齢者にとってこの3年は体力的・精神的に厳しいものであり、それがリビングでの各団体の活動にも影響をあたえています。

一方「はちまんやま寺子屋」の活動は前年度に引き続き4回計画開催し好評を得ており、まさに「継続は力なり」安定した状態にあります。2025年度もすでに6月に第1回が予定されています。新規主催講座「スマホ教室」も2回開催し、安定した出席状況にあります。

「新春会員交流会」・「研修旅行」・「運転協力者現任研修会」も実施

前年度に続き「新春会員交流会」をバンド演奏も入れて開催しました。「バス研修旅行」も前年度に続き実施、3月には、「運転協力者現任研修会」も前年度に続き実施し懇親も深めました。皆様のご理解とご協力で一年の活動ができました。ありがとうございました。

次年度も積極的・前向きな1年に！

■個別事業のふりかえり

1. 運行事業

- ①法令順守を徹底し安全かつ利用者が安心する運行に努めました。

利用者の期待に応えるために、運転協力者（ボランティア）の皆さんの情熱と協力を得、キーワードの「安心・安全」を常に心がけ運行に努めてきました。新規利用会員については運行依頼に速やかに応えるために、事前に＜入会のご案内＞を送付し、かつ、身体の状態、障害の程度、車椅子の形状等の確認また要望を聞きとり、初回運行時に再確認と補足するようにしました。新規利用会員向けの＜入会のご案内＞を適宜見直し、わかりやすい内容にしてきました。

- ②運転協力者会員を増やす努力をしました。

社会福祉協議会等の団体に協力をお願いし広く周知に努めました。年7回発行する会報「街から街へ」で利用者にも常時協力をお願いしました。また、運転協力者にも随時協力を呼びかけてきました。（福）世田谷ボランティア協会のホームページ及び機関紙「セボネ」に運転会員募集の記事を掲載していただきました。

容易には集まらない実態ですが、ホームページを見ての問い合わせもあり今年度2名の方が貴重な運転協力者の一員として加わり活躍しています。全般的な運転者不足の昨今ですが、先々のことを考え運転協力者の確保に引き続き努めていきます。

- ③新規運転会員は75歳までの募集としました。

運転会員の運転協力は80歳定年としています。75歳以上の運転会員の運転適正可否については、本人の意向を確かめながら日常的に注意を払っています。

- ④新人運転会員育成のカリキュラムを実施しています。

運転協力者に義務づけられる法定の国交省認定講習（2種免許保有者不要）の受講の他に、会として、独自に実車運転、昇降リフトの扱い、車椅子の固定方法等のOJT研修を随時実施しました。

- ⑤運転協力者現任研修会の実施。

安全・安心とは、＜交通事故を起こさない＞・＜車椅子の固定を確実に＞・＜指定時間・指定場所へ確実に送迎する＞ことです。そのことにより利用者は安心し、信頼を寄せることを再確認しました。そして、

◎不測の事態に備え⇒常に危険予知＝万が一の時大事に至らない。

◎スピードコントロール⇒出し過ぎない・集中力維持⇒前方注意＝脇見厳禁・左右後方確認。

◎歩行者優先・一時停止励行・ながら運転禁止・駐車禁止等、法令遵守について学び再確認しました。又、新しいセレナの固定装置の取り扱いについても確認しました。

⑥利用者のニーズに極力応えられるよう努力しました。

利用会員から、送迎以外のニーズも寄せられることから、個々に内容を検討し、軽介助の範囲で応えるようにしました。

⑦現有 4 台稼働

2021 年に利用実態、稼働実態を踏まえ保有車両を 5 台→4 台に減車しました。現有車両 4 台は八幡山事務所の駐車場で管理し利用者の依頼内容により配車し運行しています。取り分け、ワンボックスタイプ（キャラバン・ハイエース）の 2 台は複数車椅子を乗せることが可能のためフル稼働している状態です。年度末の 3 月にシエンタを売却し 2021 年度登録のセレナを購入しました。

◇運行実態

・送迎回数：5,080 トリップ（片道 1 トリップとしてカウント）

参考 2023 年度 5,190 トリップ

・運送収入 5,300,672 円

参考 2023 年度 5,906,890 円

・送迎距離 26,879 k m

参考 2023 年度 29,981 k m

・会員数 利用会員 66 人・運転会員 12 人・賛助会員 14 人・団体会員 1

◎送迎利用目的別件数（単位：トリップ数）

	4/1～6/30	7/1～9/30	10/1～12/31	1/1～3/30
一般通院	1 3 7	1 2 6	9 5	1 0 1
透析通院	0	0	0	0
通勤・通学	0	0	0	0
施設通所・施設利用 (デイ・リハビリを含む)	1 1 9 1	1 1 5 5	1 0 7 7	1 0 4 2
社会活動・社会参加	3 2	3 3	3 5	2 1
その他	4	6	1	2 4
計	1 3 6 4	1 3 2 0	1 2 0 8	1 1 8 8
合 計	5 0 8 0			

◎使用車両

車 種	メーカー	登録年	走行km	2024 年度 送迎距離	備考
キャラバン	日 産	2014 年	117,085km	12,943 km	車椅子 4 台搭乗可
セレナ	日 産	2008 年	164,724 km	1,857 km	リフトタイプ
ハイエース	トヨタ	2012 年	88,401 km	10,926 km	車椅子 2 台搭乗可
シエンタ	トヨタ	2010 年	121,831 km	1,153 km	スロープタイプ 3/29 運行終了(売却)

2. 交流事業

①研修旅行⇒2024 年 10 月 28 日：東京ドームホテルランチ・東京タワートップデッキ
ツアーの行程で実施しました。

②新春会員交流会⇒2025 年 2 月 15 日：昨年に引き続き「バンド演奏」を入れて実施しま
した。

場所：レストラン赤坂クーポール・千歳船橋

両交流共、天候にも恵まれ、趣向、食事を含め参加者の皆さんに喜んでいただきました。

3. 広報事業

①会報「街から街へ」の編集、発行（年 7 回）

376 号～382 号 毎号 B5 版 4 頁を基本として発行しました。

②会員拡大の取り組み（7 名新規利用会員）

利用会員・運転会員募集のパンフレットを関係機関に配布し会員拡大に努めました。

関係団体・施設等からの依頼に応じて案内パンフレットを送付しました。常時ホーム
ページでも利用会員・運転会員の募集に努めました。また運転協力会員募集のために
社協等関係団体にも広報協力をお願いしました。

こうした取り組みにより、新規の利用会員の加入があり（7 人）、また、運転会員の加入に
至りました。

③各種メディアからの取材対応

可能な限り対応する用意がありましたが、メディア対応はありませんでした。

4. 地域協力・参加事業

①「上北沢あんしんすこやかセンター」送迎協力

②肢体不自由児者父母の会旅行の送迎協力。

③本会が入会・加盟している団体

☆NPO 法人全国移動サービスネットワーク ☆障害者定期刊行物協会

☆世田谷区障害者団体連絡協議会 ☆八幡山町会

☆世田谷区福祉移動支援センター そとでる（NPO 法人世田谷移動ケア）

☆世田谷社会福祉協議会

④人材を派遣する主な取り組み

☆世田谷区障害者施策推進協議会委員

☆世田谷区障害者自立支援協議会委員

☆福祉有償運送運転会員認定講習会講師

5. 八幡山地域支え合い・介護予防事業

引き続き換気に注意し、また個々に感染対策をとりながら、各団体共、例え人数が少なくなっても、活動回数が少なくなっても、前向きに自主活動を行ってきました。活動拠点である〈リビング〉の利用価値を改めて見い出したともいえます。

「はちまんやま寺子屋」の活動も前年度に引き続き4回開催し、近隣の方の参加もあり、好評を得ました。まさに「継続は力なり」安定した状態にあります。通信の手段のみならず、趣味の領域、情報収集、知識習得等のツールになっているスマホ、いまや、日常の活動、生活に欠かせません。その取扱いを習熟するために、新規主催講座「スマホ教室」を2023年度から始めましたが、昨年度も2回開催しました。毎回安定した出席状況にあります。

1) 主催講座

①「はちまんやま寺子屋」

計画通り実施、毎回質疑応答、談笑もあり参加者に大変好評で2024年度に向けて継続開催を確かなものにすることができました。

・2024年度；計画4回開催⇒4回実施

☆7/27 テーマ「企業買収防衛手段の是非」

講師：東洋大学教授 楠元 純一郎 氏 参加人数：10人

☆10/5 テーマ「マンドリンの調べ」

出演：平 丈恵氏 参加人数：19人

☆12/7 テーマ「絵のワークショップを通じて日常に役立つ観察力を鍛えよう」

講師：デザイナー 竹中 隆雄氏 参加人数：11 人

☆3/15 テーマ「アコーディオンの調べ」

講師：DAN 氏 参加人数：16 人

②「スマホ教室」→全機種対応 講師：千木野 紘 氏

☆第 1 回 参加人数 11 人

☆第 2 回 参加人数 13 人

◎概評

- ・テーマ、講師手配含め順調である。
- ・スマホ教室は前機種対応、親切丁寧、双方向で（講師⇄参加者）進めている。
- ・両教室共、参加者は安定している。内容も概ね好評である。
- ・4 半期ごと区にも開催状況を報告している。実績踏まえ 2025 年度も計画する。

③かふえてらす文芸

持ち寄った作品をもとに月 1 回、アットホームな雰囲気の中で合評会を開催しています。毎月第 4 土曜日 13 時～15 時 30 分（参加者都合により会場を個人宅に移行）

「街から街へ」に毎号（年 7 回）寄稿

④健康麻雀「ごらくクラブ」

地域の高齢者を中心に初心者からベテランまでが集い、麻雀を通してコミュニケーションしながら楽しい時間を過ごしています。毎週水曜日 13 時～

2) リビングを拠点にしているその他のグループ活動

①大気香教室

気功の中でも最も完成度の高い気功である八段錦を中心に指導。体力に応じて無理なく練習する事ができます。高齢者を中心に熱心な活動展開を持続しています。

毎週木曜日 10 時～12 時 30 分

②オリーブの会

大気香教室参加者による自主練習 毎週金曜日 10 時～12 時

③サークル八幡

④サークル 10

③④のグループは、いずれも世田谷区が実施していた認知症予防プログラム参加者の講座修了後の自主活動です。パソコンの学習とグループウォーキングを実施しています。

第1～第3 金曜日 12 時～16 時(前半：サークル八幡、後半：サークル10)

第4 金曜日 グループウォーキング (サークル八幡、サークル10)

⑥フォレスト ヨガ

地域の女性グループによるヨガ実践の会 毎週水曜 10 時～11 時 30 分

⑦世田谷書道会

地域の未就学児童を中心にした書道学習会

毎月第1, 2, 3 火曜日 13 時～16 時

⑧船橋東グループ

地区女性団体の活動企画会議 月1回 第3 火曜日 11 時～12 時

⑨いづみ会

地区女性団体の活動 不定期

※その他、上記の定期利用の団体以外のグループ利用へも対応しました。

3) 施設管理およびその他の活動支援事業

施設のスペース及び備品の貸し出しを行ないました。

6. 事業運営体制

①理事会

理事－5 名 監事－1 名

②事務局

- ・ 事務局長－1 名 (八幡山地域支え合い・介護予防事業責任者兼任)
- ・ スタッフ－3 名 (1 名は八幡山地域支え合い・介護予防事業も担当)